

授業アンケート結果集計（講義科目・外国語科目）〈大学集計〉

■設問別評価集計表

アンケート設問内容		2017年度 前期	2018年度 後期	2019年度 前期	2019年度 後期
学 修 意 欲	1 授業への出席率はどの程度でしたか。	4.5	4.4	4.5	4.4
	2 私語、居眠り、内職、携帯電話（メール）はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.3	4.2	4.3	4.4
	3 学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.3	4.2	4.3	4.4
	4 よくわからないことは積極的に質問している。	3.5	3.4	3.6	3.8
	5 この授業のために毎週平均どのぐらい課題学修、予習や復習を行いましたか。	2.4	2.5	2.7	2.8
	6 授業で興味・関心を持ったことについて、自主的・発展的に学修することができた。		3.6	3.8	4.0
授 業 内 容	7 シラバスに基づき授業が進められた。	4.3	4.3	4.4	4.5
	8 基礎的内容から徐々に応用、専門的内容へと発展性があった。	4.3	4.3	4.3	4.4
	9 授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.3	4.3	4.4	4.4
	10 授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.2	4.2	4.3	4.4
	11 知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.1	4.0	4.2	4.3
	12 この授業は全体として満足のいくものであった。	4.2	4.2	4.3	4.4
授 業 方 法	13 教科書、参考文献、教材（視聴覚教材を含む）などが、効果的に活用された。	4.2	4.2	4.3	4.4
	14 授業を進める速さは適切であった。	4.3	4.3	4.3	4.4
	15 教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.3	4.3	4.3	4.4
	16 授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.2	4.2	4.3	4.4
	17 通年または半期全体の授業の流れが、体系的に良く組織化されていた。	4.3	4.3	4.3	4.4
	18 教員の授業準備は十分であると感じた。	4.3	4.4	4.4	4.5
	19 研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.3	4.4	4.4	4.5
	20 学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.2	4.2	4.3	4.4
	21 学生と双方向の授業が展開されていた。	4.2	4.2	4.3	4.4
環 境	22 授業クラスの人数は適切である。	－	－	－	－
	23 教室の広さや環境は適切である。	－	－	－	－
成 果	24 ※この授業の学修からどのような成果を得ることができましたか。（複数選択可）		－	－	－

評価5: と思う 評価4: どちらかと言えばと思う 評価3: どちらとも言えない 評価2: あまりそう思わない

評価1: そう思わない

（設問1）評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

（設問5）評価5: 3時間以上、評価4: 2～3時間、評価3: 1～2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間

授業アンケート結果集計（スポーツ演習・体育方法演習）〈大学集計〉

■設問別評価集計表

アンケート設問内容		2017年度 前期	2018年度 後期	2019年度 前期	2019年度 後期
学 修 意 欲	1 授業への出席率はどの程度でしたか。	4.6	4.6	4.7	4.6
	2 私語、居眠り、内職、携帯電話(メール)はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.9	4.8	4.8	4.8
	3 上達しようという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.8	4.6	4.8	4.7
	4 よくわからないことは積極的に質問している。	4.1	3.8	4.1	4.2
	5 この授業のために毎週平均どのぐらい課題学修、予習や復習を行いましたか。	2.1	1.7	2.4	2.7
	6 授業で興味・関心を持ったことについて、自主的・発展的に学修することができた。		4.0	4.2	4.4
授 業 内 容	7 シラバスに基づき授業が進められた。	4.7	4.6	4.7	4.7
	8 学修やトレーニングの目的を明確にし、科学的に説明してくれた。	4.6	4.6	4.6	4.7
	9 授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.7	4.5	4.6	4.7
	10 授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.7	4.5	4.6	4.7
	11 スポーツの楽しさを十分感じ、健康に対する意識が高まり、これからも続けたいと思った。	4.7	4.6	4.7	4.7
	12 この授業は全体として満足のいくものであった。	4.8	4.6	4.7	4.8
授 業 方 法	13 教員は個々の学生の健康状態、体力、運動能力に配慮しながら指導した。	4.8	4.7	4.7	4.8
	14 授業を進める速さは適切であった。	4.8	4.7	4.8	4.8
	15 教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.8	4.6	4.7	4.8
	16 授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.7	4.6	4.7	4.7
	17 教員は安全に対して十分に留意しつつ授業を行った。	4.8	4.6	4.7	4.8
	18 教員の授業準備は十分であると感じた。	4.8	4.6	4.8	4.7
	19 研究や教育に対する教員の熱意や真実さが伝わってきた。	4.8	4.7	4.7	4.8
	20 学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.8	4.6	4.7	4.8
環 境	21 学生と双方向の授業が展開されていた。	4.8	4.7	4.7	4.8
	22 授業クラスの人数は適切である。	-	-	-	-
成 果	23 教室の広さや環境は適切である。	-	-	-	-
	24 ※この授業の学修からどのような成果を得ることができましたか。(複数選択可)		-	-	-

評価5: と思う 評価4: どちらかと言えば思う 評価3: どちらとも言えない 評価2: あまりそう思わない
評価1: そう思わない

(設問1) 評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

(設問5) 評価5: 3時間以上、評価4: 2～3時間、評価3: 1～2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間

授業アンケート結果集計（演習・実験・実習）〈大学集計〉

■設問別評価集計表

アンケート設問内容		2017年度 前期	2018年度 後期	2019年度 前期	2019年度 後期
学 修 意 欲	1 授業への出席率はどの程度でしたか。	4.6	4.8	4.6	4.5
	2 私語、居眠り、内職、携帯電話（メール）はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.5	4.6	4.5	4.5
	3 学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.5	4.6	4.5	4.5
	4 よくわからないことは積極的に質問している。	4.0	3.8	4.0	4.1
	5 この授業のために毎週平均どのぐらい課題学修、予習や復習を行いましたか。	2.5	3.2	2.8	3.0
	6 授業で興味・関心を持ったことについて、自主的・発展的に学修することができた。		4.1	4.1	4.2
授 業 内 容	7 シラバスに基づき授業が進められた。	4.5	4.5	4.5	4.6
	8 基礎的内容から徐々に応用、専門的内容へと発展性があった。	4.5	4.4	4.5	4.5
	9 授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.5	4.4	4.5	4.5
	10 授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.5	4.4	4.5	4.5
	11 知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.4	4.3	4.3	4.4
	12 この授業は全体として満足のいくものであった。	4.5	4.3	4.4	4.5
授 業 方 法	13 教科書、参考文献、教材（視聴覚教材を含む）などが、効果的に活用された。	4.4	4.4	4.4	4.5
	14 授業を進める速さは適切であった。	4.4	4.3	4.4	4.5
	15 教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.5	4.4	4.4	4.5
	16 授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.5	4.4	4.4	4.5
	17 教員は安全に対して十分に留意しつつ授業を行った。	4.6	4.5	4.5	4.6
	18 教員の授業準備は十分であると感じた。	4.5	4.4	4.5	4.6
	19 研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.5	4.4	4.5	4.6
	20 学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.5	4.3	4.4	4.5
	21 学生と双方向の授業が展開されていた。	4.5	4.4	4.5	4.5
環 境	22 授業クラスの人数は適切である。	－	－	－	－
	23 教室の広さや環境は適切である。	－	－	－	－
成 果	24 ※この授業の学修からどのような成果を得ることができましたか。（複数選択可）		－	－	－

評価5: と思う 評価4: どちらかと言えばと思う 評価3: どちらとも言えない 評価2: あまりそう思わない

評価1: そう思わない

（設問1）評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

（設問5）評価5: 3時間以上、評価4: 2～3時間、評価3: 1～2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間

授業アンケート結果集計（基礎ゼミ・基礎セミナー・基礎演習）〈大学集計〉

■設問別評価集計表

アンケート設問内容		2015年度 前期	2017年度 前期	2019年度 前期
学 修 意 欲	1 授業への出席率は何の程度でしたか。	4.5	4.5	4.5
	2 私語、居眠り、内職、携帯電話（メール）はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.5	4.4	4.5
	3 学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.4	4.3	4.4
	4 よくわからないことは積極的に質問している。	3.7	3.6	3.9
	5 この授業のために毎週平均どのぐらい課題学修、予習や復習を行いましたか。	2.3	2.4	2.7
	6 授業で興味・関心を持ったことについて、自主的・発展的に学修することができた。			3.9
授 業 内 容	7 シラバスに基づき授業が進められた。	3.9	4.3	4.5
	8 この授業を通して、大学での学修方法や大学生生活に慣れることができた。	4.2	4.4	4.5
	9 授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.2	4.3	4.4
	10 授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.3	4.3	4.4
	11 知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.1	4.1	4.2
	12 この授業は全体として満足のものであった。	4.3	4.3	4.4
授 業 方 法	13 教科書、参考文献、教材（視聴覚教材を含む）などが、効果的に活用された。	4.0	4.1	4.2
	14 授業を進める速さは適切であった。	4.3	4.4	4.5
	15 教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.4	4.4	4.5
	16 授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.3	4.3	4.4
	17 授業の流れが、体系的に良く組織化されていた。	4.3	4.3	4.5
	18 教員の授業準備は十分であると感じた。	4.4	4.4	4.5
	19 研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.4	4.4	4.5
	20 学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.3	4.3	4.4
	21 学生と双方向の授業が展開されていた。	4.4	4.4	4.5
環 境	22 授業クラスの人数は適切である。	-	-	-
	23 教室の広さや環境は適切である。	-	-	-
成 果	24 ※この授業の学修からどのような成果を得ることができましたか。（複数選択可）			-

評価5: と思う 評価4: どちらかと言えばと思う 評価3: どちらとも言えない

評価2: あまりそう思わない 評価1: そう思わない

（設問1）評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

（設問5）評価5: 3時間以上、評価4: 2～3時間、評価3: 1～2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間